

徳川家康ゆかりの地をめぐるガイドツアー

2・3ページでも紹介した、大浜てらまち案内人によるガイドツアーを常時行っています。普段は通らないような細い路地にも行くので、新しい発見があるかもしれません。この機会に是非参加してください。

🆓 無料

📄 右の二次元コードからホームページの申し込みフォーム又は電話



碧南市の各所に三英傑デザイン旗

三英傑ののぼりで、三英傑ゆかりの地をPRしています。碧南市と織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将（三英傑）とのつながりを知ってもらい、市民の皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思ひます。同じデザインの御朱印帳も販売しています。購入希望の方は大浜まちかどサロンへお問い合わせください。

三英傑 足あとのこる 碧南市

📞 市観光協会 ☎95-9894

三英傑とは…

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の戦国武将のことです。広報へきなん9月号でもお知らせしましたが、碧南市と三英傑はゆかりの地や事柄があり、市では今後、三英傑を活用した歴史観光を盛り上げる事業を進めていきます。

2023年の大河ドラマは徳川家康の生涯を描いた「どうする家康」が放送されます。大河ドラマの放送をきっかけに、碧南市と徳川家康のつながりをたくさんの人に知っていただきたいと思ひます。

訪れてみたい！碧南市の三英傑ゆかりの地！

どうする家康プロジェクトチーム Instagramで情報発信中！

碧南市と三英傑（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）のつながりについてPRしています。#三英傑へきなん、#どうする家康をつけて投稿してください！



3年ぶりに大浜てらまちウォーキングを開催します!!

本 祭 10月16日(日) 9時30分～15時
所 碧南駅以西大浜地区
前夜祭 10月15日(土) 17時～21時
所 西方寺、宝珠寺、林泉寺、海浜水族館

次のページからはイベント案内を掲載しています。お寺スタンプラリー、御朱印巡りをしたり、人力車に乗ることもできます。大人から子どもまで楽しむことのできる内容になっています。魅力いっぱいの大浜てらまちウォーキングを訪れてみてはいかがでしょうか。



△十カ寺のデザイン御朱印

ゆかりの地③ 徳川家康の伊賀越え上陸地 大浜稲荷社

当時41歳の家康は、1582年の本能寺の変の後、大阪から岡崎まで戻ろうとした。三重県の白子から海を渡った際に、永井直勝が同行して上陸した地が現在の大浜稲荷社のあたりと言われている。



ゆかりの地④ 称名寺

▼徳川家康幼名「竹千代」の命名寺
家康の幼名は「竹千代」といい、その命名寺と言われている。また、境内には徳川家康を神様として祭っている神社もある。
▼豊臣秀吉が朝鮮出兵の船を造船させた地
秀吉は岡崎領主に命じて、朝鮮出兵の際に使用する船を称名寺境内で作らせたと言われている。



ゆかりの地① 織田信長初陣の地 津島社

1547年10月に当時13歳の信長は初陣で大浜に向け出陣した。手始めとして現在の天王町辺りに火を放ち、大浜の港へ攻め上がり、当時の領主である長田重元と戦った。



ゆかりの地② 永井直勝生誕地

徳川家に仕えた武将の一人。1563年に宝珠寺の地で生まれた。22歳の時、小牧・長久手の戦いで功績を収め、その後戦国武将として出世していった。幼少期は美少年として知られ、子孫には永井荷風、三島由紀夫、野村萬斎などがいる。

